

# 令和4年度公立中学校における英語教育実施状況調査

※調査基準日は、指定がない場合、令和4年12月1日現在としてお答えください。

※本調査は、公立中学校、義務教育学校の後期課程及び中等教育学校の前期課程を対象とします。

※特別支援学校及び特別支援学級は対象外とします。

※本校と分校は、まとめて1校とします。

## 1. 調査対象学校数

学校数	9,208
-----	-------

## 2. 生徒の英語力に関すること

以下に該当する生徒数を記入してください。

※「英語能力に関する外部試験」の結果が「CEFR A1レベル相当（英検3級など）以上」に相当するか否かについては、各試験団体のウェブサイトなどを参考にして判断してください。

※「CEFR A1レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒数」とは、実際に外部検定試験の級、スコア等は取得していないが、それに相当する英語力を有していると英語担当教師が判断する生徒の人数を指します。

【判断方法の例】

- ・2技能または3技能を測る試験におけるスコアを踏まえて判断
- ・公式な記録としては認定されない試験のスコア
- ・CAN-DOリストに基づくパフォーマンステストの結果 等

第3学年に所属している生徒数	第3学年に所属している生徒のうち、英語能力に関する外部試験を受験したことがある生徒数	英語能力に関する外部試験を受験したことがある生徒のうち、CEFR A1レベル相当以上を取得している生徒数	第3学年に所属している生徒のうち、CEFR A1レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒数
987,321 人	442,971 人	269,976 人	215,745 人

3. 英語を使用する機会に関すること

3-(1) 授業における、生徒の英語による言語活動の割合

第1～3学年について、1単位時間(50分)の授業の中で、生徒が英語で言語活動をしている時間の占める割合(%)について回答してください。

※特別支援学級は含みません。

※言語活動とは、コミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指して実施している活動のことです。(学習指導要領解説 付録8 参照)

【聞くことの例】日常的な話題について、自然な口調で話される英語を聞いて、話し手の意向を正確に把握する活動。

【読むことの例】日常的な話題について、簡単な表現が用いられている広告やパンフレット、予定表、手紙、電子メール、短い文章などから、自分が必要とする情報を読み取る活動。

【話すこと【やり取り】の例】関心のある事柄について、相手からの質問に対し、その場で適切に応答したり、関連する質問をしたりして、互いに会話を継続する活動。

【話すこと【発表】の例】関心のある事柄について、その場で考えを整理して口頭で説明する活動。

【書くことの例】趣味や好き嫌いなど、自分に関する基本的な情報を語句や文で書く活動。

(単位:校)

	第1学年	第2学年	第3学年
授業中、75%以上の時間、言語活動を行っている	1,523	1,442	1,565
授業中、50%以上75%未満の時間、言語活動を行っている	5,338	5,397	5,193
授業中、25%以上50%未満の時間、言語活動を行っている	2,051	2,141	2,186
授業中、25%未満の時間、言語活動を行っている	230	186	225
欠学年	66	42	39

上記の項目を10としたとき、「話すこと【やり取り】」、「話すこと【発表】」及び「書くこと」にかかる時間の割合を0～10で回答してください。

(※「聞くこと」「読むこと」「話すこと【やり取り】」「話すこと【発表】」「書くこと」全体を10とした場合)

(単位:校)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
第1学年 話すこと【やり取り】	8	454	2,551	3,028	1,702	830	398	124	42	6	2
第1学年 話すこと【発表】	90	3,047	4,033	1,590	326	48	9	2	0	0	0
第1学年 書くこと	18	1,234	4,010	2,454	929	346	108	32	12	2	0
第2学年 話すこと【やり取り】	13	531	2,841	3,000	1,564	780	307	96	27	4	3
第2学年 話すこと【発表】	79	3,005	4,047	1,632	347	49	7	0	0	0	0
第2学年 書くこと	12	881	3,918	2,688	1,114	382	109	45	14	2	1
第3学年 話すこと【やり取り】	11	691	3,162	2,897	1,435	616	249	76	28	1	4
第3学年 話すこと【発表】	77	3,104	3,986	1,658	295	38	9	2	0	0	1
第3学年 書くこと	15	687	3,299	3,068	1,347	502	182	55	15	0	0

3-(2) 「話すこと〔やり取り〕」、「話すこと〔発表〕」及び「書くこと」を評価する、スピーキングテスト及びライティングテスト等のパフォーマンステストの状況

本年度パフォーマンステストを実施した、あるいは本年度中にパフォーマンステストを実施する計画がある場合は、「スピーキングテストとライティングテスト両方実施」「スピーキングテストのみ実施」「ライティングテストのみ実施」のうち当てはまる欄に「○」を付けてください。実施しておらず本年度中の実施計画もない場合は、「両方実施なし」に「○」を付けてください。

※特別支援学級は含みません。

※スピーキングテストは、学習指導要領に基づく言語活動に沿った出題・評価とします（定期テストにおける出題も含みます）。

例えば、音読に関するテストは、本調査においては、「読むこと」の技能を評価するものとし、スピーキングテストには含めません。

また、あらかじめ決められた台詞を言い合う活動も含めません。

※ライティングテストは、定期テストの出題も含みます。

ただし、学習指導要領に示す言語活動（「趣味や好き嫌いなど、自分に関する基本的な情報を語句や文で書く活動」、

「簡単な手紙や電子メールの形で自分の近況などを伝える活動」、

「日常的な話題について、簡単な語句や文を用いて、出来事などを説明するまとまりのある文章を書く活動」、

「社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分の考えや気持ち、その理由などを書く活動」）

などに沿って各学年の学習段階を考慮した評価とし、語彙、語法、文法知識のみを問うような問題や単なる下線部訳は含めません。

(単位：校)

	スピーキングテストと ライティングテスト 両方実施	スピーキングテスト のみ実施	ライティングテストの み実施	両方実施なし	欠学年
第1学年	8,106	715	293	30	64
第2学年	8,297	581	269	21	40
第3学年	8,344	474	324	27	39

上記の項目において、実施した場合、次の項目について実施回数を記入してください（実施予定を含みます）。

※実施回数とは、当該学年の生徒全員を対象としたパフォーマンステストの回数を指します。

(単位：回)

		第1学年	第2学年	第3学年
スピー キン グ テ ス ト	スピーチ	14,087	12,508	12,630
	プレゼンテーション	8,721	11,193	10,728
	インタビュー (面接・対話等)	15,866	15,816	15,208
	ディスカッション	616	1,406	2,786
	ディベート	205	537	2,521
	その他	1,411	1,634	1,618
スピーキングテスト合計		40,906	43,094	45,491
ライティングテスト（エッセイ等）		25,929	28,392	31,530

「両方実施なし」を選んだ学年がある場合、その理由を記載してください

3-(3) 「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の設定・公表及び達成状況の把握の状況

「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の設定、公表及び達成状況の把握のそれぞれについて、行っている場合は「はい」、そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

※『「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標』とは、英語を使って実際に何をすることができるようになるのか、その能力を領域別に記述したものを指します。

※「公表している」とは、一覧表にした学習到達目標の生徒への配布、単元で使用するワークシートの形式での生徒への配布、「学校だより」での紹介、学校のホームページへの掲載等の方法で、生徒、保護者等と共有されている状態のことを指します。

■生徒と共有している例：

①年度当初の英語の授業（オリエンテーション）で、学習到達目標等を配付し、学期ごとやこの1年間で何ができるようになればよいかを生徒と共有する。

②単元の第1時に単元の課題を設定し、この単元で何ができるようになればよいかを生徒と共有する。

③単元で使用するワークシート形式で生徒に示す。

④生徒が到達状況を把握するために振り返り等で活用する。等

■保護者や地域の方と共有：

①「学校だより」で紹介する。

②学校のHPへ掲載する。等

※「達成状況を把握している」とは、一覧表やワークシートの形式で生徒に配布した「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標をもとに、学年末、学期末、単元内等で評価を行い、学習到達目標を達成しているかどうかを教師が把握していることを指します。

(単位：校)

「CAN-DOリスト」形式による学習到達 目標を設定している学校数	「CAN-DOリスト」形式による学習到達 目標を設定している場合において、 「CAN-DOリスト」形式による学習到達 目標を公表している学校数	「CAN-DOリスト」形式による学習到達 目標を設定している場合において、 「CAN-DOリスト」形式による学習到達 目標の達成状況を把握している学校数
8,661	6,053	7,218

4. 英語担当教師の英語力・指導力に関すること

4-(1) 英語担当教師の英語力の状況

調査基準日時点において中学校に所属する英語担当教師のうち、英語能力に関する外部試験を受験してCEFR B2レベル以上を取得している教師数を回答してください。

※英語担当教師とは、調査基準日時点において中学校に所属し、外国語（英語）の免許状（免許状の種類は問わない）を所有し、かつ英語の授業を担当している者です。（ただし、臨時的任用の者及び非常勤講師を除く。）

※「英語能力に関する外部試験」の結果が「CEFR B2レベル（英検準1級など）以上」か否かについては、各試験団体のウェブサイトなどを参考にして判断してください。

（単位：人）

英語担当教師の人数	CEFR B2レベル以上を取得している英語担当教師数
29,113	12,100

4-(2) 英語担当教師の海外留学経験等の状況

※「海外留学経験等」とは、海外にある学校や研修施設等へ通った実績を指します。

高等学校卒業程度までに海外に在留し、現地にある学校（日本人学校を除く）へ通った経験も含まれます。

※オンラインでの海外留学経験も含まれます。

※複数回の「海外留学経験等」がある場合には、その日数を合計してください。

（単位：人）

	海外留学経験等がある教師数
1ヶ月未満	3,689
1ヶ月以上半年未満	4,719
半年以上1年未満	3,671
1年以上	3,025
合計	15,104

4-(3) 授業における、英語担当教師の英語使用状況

第1学年、第2学年、第3学年のそれぞれについて、授業中における英語担当教師の英語による発話の状況について、当てはまるものに○をつけてください。

※特別支援学級は含みません。

※ここでの「英語担当教師」とは、調査時点で英語の授業を担当している者として（非常勤や臨時的任用の者も含みます）。

（単位：校）

	第1学年	第2学年	第3学年
発話の75%以上を英語で行っている	1,224	1,217	1,322
発話の50%以上75%未満を英語で行っている	5,550	5,671	5,469
発話の50%未満を英語で行っている	2,368	2,279	2,377

5. 外国語指導助手（ALT）等の授業への参画状況

5-(1) 外国語指導助手（ALT）等の人数

中学校で学校独自に授業への協力を得ているALT等の人数を回答してください。

※「学校独自に授業への協力を得ている」ALT等とは、ネイティブスピーカーや英語が堪能な地域人材で、「JETプログラム」「自治体が独自に直接任用しているALT」「派遣契約」「請負契約」「補習等のための指導員等派遣事業」に該当しない者を指します。

※各自治体や学校によって様々な呼称があると考えられますが、本調査における「外国語指導助手（ALT）」とは、英語の授業などで計画的・継続的に参画している人物を指します。英語以外の外国語を担当するALTは含みません。

※人数は、年間の契約人数の総数ではなく、調査基準日時点での人数を回答してください。

※「中学校におけるALT人数」とは、小学校、高等学校及び中等教育学校と兼務している人数を含みます。同一ALTが2校以上の中学校に参画している場合は、いずれか1つの学校で1名とカウントしてください。

※「自治体が独自に直接任用しているALT」とは、JETプログラム以外でのALTで教育委員会が直接任用契約を結んでいるALTのことです。

※「派遣契約によるALT」とは、派遣先（教育委員会）と派遣契約を結んだ派遣元（会社）により派遣されるALTのことです。

※「請負契約によるALT」とは、注文主（教育委員会）と請負契約を結んだ請負業者（会社）により派遣されるALTのことです。

※日本人とは、第一言語を日本語とする者として、外国人とは、第一言語を日本語としない者として。

(単位：人)

	中学校におけるALT人数	小学校とのみ兼務している人数
JETプログラムによるALTの人数	2,673	1,847
自治体が独自に直接任用しているALTの人数	1,559	995
派遣契約によるALTの人数	2,863	1,219
請負契約によるALTの人数	319	143
上記の他、「補習等のための指導員等派遣事業」のうち、中学校における英語の授業で活用している人数	22	8
上記以外で学校独自に授業への協力を得ている日本人のALT等	344	
上記以外で学校独自に授業への協力を得ている外国人のALT等	564	
合計	8,344	4,212

5-(2) 英語の総授業時数における、ALT等の授業への参画状況（令和4年度計画値）

英語の総授業時間数（計画値）の中で、ALT等が参画する授業の割合として当てはまるものを、以下の選択肢の中から選んでください。

※「総合的な学習の時間」や「特別活動」において英語に触れる時間は含めません。

※1単位時間は50分として計算してください。計算した結果によって生じた小数点第3位以下は、全て切り捨ててください。

※学校全体の時間数で記入してください。

(単位：校)

	0%	1~24%	25~49%	50~74%	75~100%
総授業時数に対するALT等が参画する授業時数の割合	86	3,760	3,563	1,170	628

5-(3) ALT等の授業への参画の具体的状況

ALT等による、以下に示す活動の実施状況について、当てはまるものに○を付けてください。

(単位：校)

	75%以上の授業で行った(行う)	50%以上75%未満の授業で行った(行う)	25%以上50%未満の授業で行った(行う)	1%以上25%未満の授業で行った(行う)	実施していない
教師とのやり取りを生徒に示す やり取り・発表のモデル提示	4,642	2,556	1,326	551	55
パフォーマンステスト等の補助	3,120	2,037	1,981	1,684	308
生徒のやり取りの相手	4,372	2,695	1,481	542	40
発音のモデル・発音指導	5,506	1,958	1,027	545	94
生徒の発言や作文等に対する コメント・フィードバック	3,341	2,684	1,996	954	155

5-(4) ALT等の授業外での活動状況

ALT等による、以下に示す活動の実施状況について、当てはまるものに○を付けてください。

(単位：校)

	週1回以上行った(行う)	月1回以上行った(行う)	半年に1回以上行った(行う)	年1回以上行った(行う)	実施していない
英語の授業以外の授業や 学校行事での生徒との交流	1,519	1,660	1,967	1,084	2,970
一定の目的を持った授業外での教育活動 (例：部活動、希望する生徒に対する 個別指導、異文化理解のための学習)	978	1,499	1,978	1,285	3,460

6. 英語教育に関する小中連携の実施状況(令和4年度)

6-(1) 英語教育に関する小中連携の実施状況

英語教育に関して、小学校と連携をしていますか。当てはまるものに○を付けてください。

(単位：校)

実施した(する)	実施しなかった(しない)
6,952	2,256

6-(2) 英語教育に関する小学校との連携の取組内容

実施した(する)連携の内容として当てはまるものに○を付けてください。(複数回答可)

(単位：校)

情報交換(互いの取組・実践を情報として交換する) 例：授業参観、年間指導計画の交換	5,889
交流(情報交換した内容について研究協議する。互いの学校で授業を行う。) 例：指導方法等についての検討会、授業参観後の研究協議、中学校教員による小学校での授業	4,262
小中連携したカリキュラムや学習到達目標などの設定	2,004
その他	327

小学校との連携内容として「その他」を実施している場合、その内容を記入してください。

--

7. 英語の授業におけるICT機器の活用状況

以下に示すICT機器の活用状況について、当てはまるものに○を付けてください。

(単位：校)

	75%以上の授業 で実施した(す る)	50%以上75%未 満の授業で実施し た(する)	25%以上50%未 満の授業で実施し た(する)	1%以上25%未 満の授業で実施し た(する)	実施していない
教師がデジタル教材等を活用した授業	7,667	995	356	161	29
生徒が1人1台端末を 活用した授業	2,161	2,241	2,923	1,830	53
生徒がパソコン等を用いて発表や話すことにおける やり取りをする活動	775	1,346	2,992	3,251	844
生徒による、発話や発音などの録音・録画	398	798	2,143	3,881	1,988
生徒がキーボード入力等で書く活動	646	1,080	2,556	3,726	1,200
生徒が電子メールやSNSを用いた やり取りをする活動	47	69	241	934	7,917

生徒が1人1台端末を「実施していない」と答えた場合、その理由を回答してください。

以下に示すICT機器の活用状況について、当てはまるものに○を付けてください。

(単位：校)

	週1回以上行った (行う)	月1回以上行った (行う)	半年に1回以上 行った(行う)	年1回以上行った (行う)	実施していない
生徒が遠隔地の生徒等と 英語で話をして交流する活動	26	44	229	629	8,280
遠隔地の教師やALT等と チーム・ティーチングを行う授業	48	54	136	352	8,618
生徒が遠隔地の英語に堪能な人と 個別に会話を行う活動	17	54	188	285	8,664